帯広市上下水道部キャラクター

災害に強く、

い

つでも安全に、

安心して利用できる

上下水道を目指

ミナモ<ん

15億

-般会計 負担金

(2.7%)

補助金

317万円

策定

インフラ基本計

<u>%</u>2

財政

状況 道管の更

などを考慮 画

4253万円

97.1%)

収支不足額

した水

新

中

長

期

新

たな水道管の

整備や老朽

18億6222万円

水道布設<mark>工事や</mark>

メーター設置経費など

24億2889万円

70.6%

借入金の

元金返済

(29.4%)

水場の改築(平成25

27

年度)

中島配水区

の水道

管の整備

10億1123万円

平成

27~29年度)

南 0

町 更

配

稲

田浄

水場設備

機

器

するための収入と支出 資本的収支 収益的収支 収入 収入 37億2264万円 15億7790万円 34億4012万円 44億3295万円

水道水を作り、届けるための

水道水の購入費 10億5718万円 (28.4%)

維持管理費

職員給与費

借入金利息

3億4263万円

2億3854万円

水道事業の主な取り

組

み

3億5863万円

(13.1%)

(9.6%)

(9.2%)

その他

(6.4%)

純利益(税込み) 7億1031万円

4億8617万円

減価償却<mark>費</mark> 12億3949万 (33.3%)

水道料金

85.6%

37億9629万円

9万円

確実に おい 収 益的収支における収 し び 届 ける 水道水を作り

3295万円 、支出は37億2264万円 (前年度比 入は 0 44 同 % 億

> 十勝· 水道 た水道・ 利 などにより、 0 益となりまし 3 中 料金収入が増 部広 1 万円 水の 域水道企業団 同 入費が減 収益的収支は7 加し 36 た 増 0

> > 増

収 0 万

不足は

などで補填な収益的収支

0

価 で、 億 9

償却 た。

費 入

<u>%</u>

まし 減

『事業会計の決算 4 7 % 減 で、

水道

決算は9月23日

[から開催の定例市議会で審議されて

い

ま

上下水道部総務課

(市庁舎水道棟2階、

7

65

4 2 1

2

家庭など [から購入 一方で、 少したこ から 億 0 7 7 は 水道施設や水道管を整備する 34 資

本的収支にお

ける収入は

15

億

0 4

円

(同

11

%

增)、

支出

3 は

12万円 0

(同

8 9

%

益

末処

減 減価償却費などで補填しました。 30 8 7 資本的収支における収入は13 8 収 万円 9 入の 7 0 (同 不足は収益的 万円 20 % (同 減)、 11 8 収

汚れた水を集めてきれいにする 1772万円 収益 3 %増) 支出は46 水道事業会計の決算 的収支における収入は52 億 7

億

担金 1%増) が増加り 収支は の純利益となり したことなどによ 5 (前年度比3・ 億 9 8 1 3 7 般会計 9 方円 まし から 1 3 万 (同 ŋ 0)

理場や下水道管を整備する

職員給与費 4円41銭

下水道管の清掃や修理、

施設の修理や電気料

などの維持管理費

60円2銭 (43.8%)

支出 支 % 億

汚水処理原価

借入金利息

22円99銭 (16.8%)

減価償却費

給水原価 借入金利息 職員給与費 23円36銭 (10.5%) 24円43銭 (11.0%) 漏水・メーターの修 施設の修理や電気料 などの維持管理費 減価償却費 37円70銭 (16.9%) ・勝中部広域水道企業団 いらの水道水の購入費 6円74銭 (29.9%)

1 m 当たり 137円

な施設の更新や、

下水を処理するための費用 水道水を作り、届けるための費用 1 m 当たり 223円

災害に強い施設づ くりなどを行って

を策定し、計画的 インフラ基本計画

生活に必要不可欠な上下水道サー 的な視点に立った ビスを提供し続けるため、 今後も健全な企業経営のもと、 中長期

朽化した施設の更新が必要となり 水道事業ともに純利益を計上する 使用量が減少する一方、 た。しかし、今後は人口が減少し 平成27年度の決算は、 健全な状況を維持できまし 多くの老 水道、 下

水道・下水道 これからの帯広市の

費水道の・

下水道事

業の

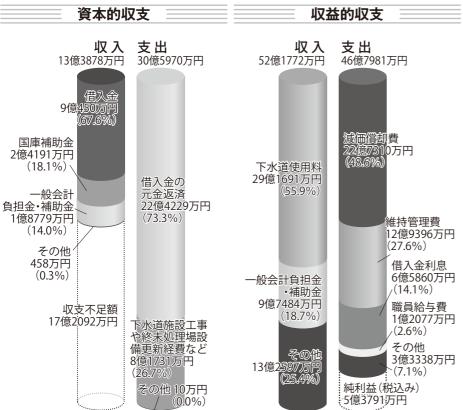
次 内 訳

終末処理場の建設や下水道管を 整備、更新するための収入と支出

汚れた水を集めてきれいに するための収入と支出

耐震・防寒性能に優れた

水道管(橋梁添架管)の整備



視装置の更新(平成25~27年 带広川下水終末処理場中央監 どを考慮したインフラ基本計 面陥没の未然防止に向けた地 朽化した下水道管の更新▼路 ・新たな下水道管の整備や老 ・レーダーによる空洞調査▼ ▼中長期的な財政状況な

下水道管(老朽管)の更新

下水道事業の主な取り組み

※1 減価償却費とは 施設が古くなり価値が減った分を費用として換算したもので、収支に反映されます。この費用は現金の支出を伴わず、新しい施設 を作るときの財源に位置付けられます。※2インフラ基本計画とは 施設の維持管理・更新などの中長期的な取り組みの方向性を明らかにする計画です。